

子どもの心を・・・

ここ4ヶ月に渡りSNSでの成りすましはじめ問題を取り上げてきました。この問題では、現在の行政対応の姿が凝縮しているように感じています。学校と教育委員会はもちろんですが、弁護士、警察、法務局にも相談して感じたことは、人権意識の基本となる自分ごととして人のことを考えることが、そこには存在しないということです。



学校と教育委員会は積極的に何も動こうとしません。傷ついている子どもがいるにもかかわらず、時間だけが経過して問題解決どころか放置状態となっています。子どもを現場で預かる機関として、情けなさを感じずにはられません。

弁護士、警察、法務局は、法律ありきということになります。つまり、何か事件が起きない限りできることはないというのが結論です。法律的にはもっともなことだと思いますが、一番大切なことは子どもたちを守ることだという認識が全く欠けています。

極端な話、大きな怪我や命でも落とせば、学校と教育委員会も弁護士、警察、法務局も動くということです。これでは全く問題解決になりません。事件が起きたからでは遅いのです。事件が起きる前に、子どもたちに手を差し伸べて救うのが学校現場であり教育の義務、大人の役目だと思います。学校の対応が適切でない場合、是正させるのが教育委員会の役割ですが、事なかれ主義で右に並べでは本当に困りますし、それなら存在自体必要ありません。

「自分の子どもが被害者で傷つき苦しんでいたら同じ対応で納得できますか？」と全ての関係者に問いたいところです。

このような状態では、いじめられた子どもは泣き寝入りしろと言わんばかりです。子どもの心が大人の都合や対応によって虐げられ、目に見えない心が傷ついていくのは断固として許せません。

社会の仕組みも事情も変わらないかもしれませんが、私どもは諦めずに人権のこと子どもたちのことを訴えてきます。少しでも人のことを、そして子どもたちのことを考え手を差し伸べる世の中になることを願い、人権意識を持つ人が少しでも増えることを目指し、しっかりと活動を続けていきます。

人権啓発パネル展

2月7日(金)～2月20日(木)甲府市役所、甲府市南西公民館において、「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。



人権啓発講演会

2月13日(木)甲府市役所庁舎において、「人権感覚を磨こう」と題して、国連 NGO 横浜国際人権センター本部長・杉藤旬亮が人権啓発講演会を開催しました。



2月14日(金)甲府地区広域行政事務組合消防本部において、「人権感覚を磨いていくために」と題して、国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ事務局長・城野仁志が人権啓発講演会を開催しました。



※人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面ににてご覧いただけます。

協賛：山梨県、甲府市、甲斐市



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ 会長：横山隆史
 特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
 TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

会員企業：株式会社成心設備、西関東開発株式会社、株式会社ウィルマート、株式会社 R&C

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチだより (2020年2月号)

甲府市立北西中学校 (男子)

『人権移動教室に参加して』

講師の方には今回は、たくさんのごとを学
びました。その中でも心に残っているのは、
まず、人を大切にしなければ、ということ
です。人に席をゆずったり、年寄りや敬った
り、障害者を優先したりたとか、誰よりも優し
くする心、が現代社会には必要と語っていま
した。僕もそう思いました。たしかに、僕
にも自分だけ良ければいいと思う時季があり
ました。でも、そんなことはあつてはならな
いと今回感じました。そのことを明日からに
生かしたいと思いました。

今回のこうえんとお話しして感じたことは、
人権を人ごうとさういわれる理由もなんとみ
くわかつた、というです。今回学んだことは
生かす、忘れないうにしたいです。

甲府市立北西中学校 (女子)

『人権移動教室に参加して』

「人権」という言葉は知っているようで知
らない言葉でした。しかし、今回の講話を通
して人権とは誰もがもっている言葉だと思い
ました。世界中のどこでも自分が良ければい
い、そう思っている人はたくさんいます。し
かし、電車でお年寄りに席を譲ったり、紛争
がある地域のボランティアをしたり相手を想
いやる人もたくさんいます。相手を想いやる
というのは努力がとて大切だということを知
りました。今回講話をしてくださった杉藤先
生の体験談を聞いて相手のことを思いやると
いうのは、相手もうれしいし自分もうれしく
なる、世界中の誰でもできることだと思いま
した。これから先も、と相手への思いやり
を忘れずに思いやりの心を持った人になりた
いです。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。